

## 2021（令和3）6月定例会一般質問

13番議員、立風会の胡子雅信でございます。新型コロナウイルス・ワクチン接種が順調にすすんでいることについて、医療機関・行政機関などの関係者の皆様に感謝いたします。通告に従いまして、『海上交通について』5点の質問をいたします。

国勢調査が5年に一度行われますが、令和2年（2020）の国勢調査速報値では、江田島市の人口は前回調査の平成27年（2015）に比べ、2,402人減少し、率にして9.9%減の2万1937人でした。

平成2年（1990）以降の国勢調査結果を見ても5年単位で2300人から3000人の人口減少があり、この傾向に歯止めがかかっていないのが現実です。

江田島市は広島湾に位置し、通勤・通学・通院など市民生活において、広島市と呉市との往来が多く、早瀬大橋経路の陸路での移動手段はありますが、海上交通に大きく依存しているのが実態です。

人口減少によって乗降客数も毎年減少する厳しい状況にあるなかで、昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大によって、出張者や観光客などの利用者也減少し、更に環境は悪化しています。海上交通をどう支援していくか、江田島市民の生命線をどう維持していくかが課題です。そこで、5点について伺います。

- （1）新型コロナウイルスによる影響で乗降客数が著しく減少している航路事業者を支援する航路維持支援金の利用状況及び全航路の乗降客数の状況
- （2）人口減少が進むなかで、航路運営は年々厳しい状況にあり、市全体の海上交通をどう考えていくか
- （3）中町・高田／宇品航路は公設民営化して3年目から経常赤字であり、令和2年10月からの新たな指定管理期間となったタイミングで減便や回数券・通勤定期券の運賃改定等見直しを図ったが、今後、赤字が続いた場合の対応をどうするか
- （4）広島県生活航路維持確保対策事業補助金制度の適用航路拡大についてどう考えるか
- （5）人口減による利用者減を補う施策をどう考えるか

以上のことについて答弁をお願いします。